

こんにちは

村上高校です!

地域に開かれた魅力ある学校を目指して、本校の取り組みを定期的にご紹介いたします。
電話 0254-53-2246(教務室直通)
FAX 0254-53-3401



本校ホームページ (<http://www.murakami-h.nein.ed.jp/>) もご覧ください

平成27年10月19日発行

オープンスクール開催

九月九日、オープンスクールが開催されました。全体会場である体育館に、参加者三百七十名が集まり、校長、生徒会長の歓迎の言葉、日程説明のあと、教室に移動し授業見学を行いました。この日は昨年引き続き、部活動体験があり、予め希望した部活動を、村高生とともに体験しました。

【中学生の感想】

- ・ 堅いイメージがあったけど、とても明るくて楽しそうな学校だった。
- ・ 授業の雰囲気を知れて良かった。
- ・ オンとオフの切り替えができる素敵な学校でした。
- ・ 村高生のあいさつが良くって驚きました。
- ・ 部活動体験では、優しく分かりやすく教えてもらい、入部したいと思いました。
- ・ ぜひ、村上高校に入りたいと思いました。



学園祭開催

九月二十六日、学園祭が開催されました。九時半開場、大体育館では、ダンス部、書道部、吹奏楽部が日頃の成果を発表し、各教室では、クラス企画がスタートしました。この日多くの保護者や地域の方々が、本校を訪れ、盛況のうちに終了となりました。



ギターはひかなきゃ音は出ない!!

By寺内タケシ

9月3日、世界的に有名なバンド「寺内タケシとブルージーンズ」をお招きして、芸術鑑賞会が開催されました。午前8時半、機材を積んだトレーラーが到着。それから、体育館のステージに巨大なスピーカー類を初めとして、演奏機材などが組み立てられて行きました。完成後、リハーサル、そして、午後1時半公演が始まりました。ベートーベンの「運命」や津軽じょんがら節などの演奏、ポータル岩澤あゆみさんの歌、そして寺内タケシさんの「村上高校の生徒諸君! ギターはひかなきゃ音は出ない!」の言葉で90分のステージはあっという間に終了しました。



差別っていったいなんやねん!

10月2日、山口県人権啓発センター事務局長の川口泰司氏をお招きして、PTA主催の人権同和教育講演会「差別っていったいなんやねん」が開催されました。川口さんは被差別部落に生まれ、中学で同和教育に本気で取り組む先生との出会いから、解放運動に取り組むようになりました。大学に進学後、差別の現実を前にして、部落出身ということが言えなくなり、悩みました。やがて、自分を見つめ直し、多くの人と出会う中で少しずつ解放されていった自身の体験から差別することについてお話していただきました。

